

横浜市PFI事業進捗状況等確認調書 要約【修繕費累計額】

資料1-3

(単位:千円)

事業名	単年度(令和4年度)					累計額				
	計画値 [契約時]	計画値 [年度当初]	実績値	差額 (実績-計画[年度当初])	差額発生理由 等	期間	計画値 [契約時]	実績値	差額 (実績-計画[契約時])	長期修繕計画の進捗状況
横浜市環境創造局 北部汚泥資源化センター消化ガス発電設備整備事業	128,284	128,284	128,284	0	—	H21～R4年度 (14年分の累計)	1,563,690	1,563,690	0	・令和4年度については、各エンジンの総運転時間は83,000時間を超え、1号機(6月)、3号機(4月)のD点検を計画通り実施しました。 ・事業全体を通して、突発的な修繕や予定していた修繕の先送りはなく、長期修繕計画に基づき、予定通り進捗しています。
横浜市瀬谷区総合庁舎及び二ツ橋公園整備事業	73,425	70,542	70,542	0	—	H23～R4年度 (12年分の累計)	283,885	272,737	▲ 11,148	・事業期間終了前(14年目)に施設性能マネジメントチームによる建物診断を実施します。 ・令和4年度については突発的な修繕が発生したものの、事業全体を通しては計画修繕により、大きな影響が出ないように取り組んでいます。
川井浄水場再整備事業	150,025	157,376	157,376	0	—	H26～R4年度 (9年分の累計)	834,155	861,699	27,544	事業全体を通して、突発的な修繕や予定していた修繕の先送りはなく、長期修繕計画に基づき、予定通り進捗しています。
戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業に伴う 公益施設整備事業	142,999	138,100	138,100	0	—	H25～R4年度 (10年分の累計)	406,136	392,222	▲ 13,914	・令和4年度に実施した区民文化センターホール天井改修工事の影響により、一部来年度以降に先送りする修繕もあるが、費用のバランスを取りながら、事業全体額として大きな影響が出ないように実施している。
横浜市南部汚泥資源化センター下水汚泥燃料化事業	150,420	161,547	161,547	0	—	H28～R4年度 (7年分の累計)	556,780	581,871	25,091	突発的な計画外の追加修繕と計画修繕の先送りにより、費用のバランスを取りながら、全体額として大きな影響が出ないように取り組んでいます。
みなとみらい21中央地区20街区MICE施設整備事業	98,274	101,486	101,612	126	物価改定による増	R2～R4年度 (3年分の累計)	270,253	279,213	8,960	・設備の状態もよく、計画修繕の必要がない状況であったため、令和4年度に計画していた換気設備の部分修繕については実施しなかった。 ・現在の状況を踏まえ、先送りする修繕の費用のバランスを取りながら、全体額として大きな影響が出ないように長期修繕計画を見直す予定。
横浜市北部汚泥資源化センター 汚泥処理・有効利用事業	17,920	20,320	20,320	0	—	H29～R4年度 (6年分の累計)	97,640	103,240	5,600	汚染防止法の改正による水銀対策設備の対応費用の追加が見られるものの、事業全体を通して大きな影響額ではない。事業期間が約1/4経過したなか、現状の修繕実施額も全体修繕計画額の約1/4という結果を受け、概ね予定とおり進捗している。
みなとみらい21中央地区20街区MICE施設運営事業	20,000	6,500	716	▲ 5,784	故障・不具合箇所が抑制されたため。	R2～R4年度 (3年分の累計)	60,000	2,873	▲ 57,127	・当初、吊物機構、照明、映像・音響設備の部分修繕・更新を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で稼働率が低く、劣化もしていないため、修繕は不要と判断し実施していない。 ・そのうえで、先送りする修繕の費用のバランスを取りながら、全体額として大きな影響が出ないように令和5年度以降の長期修繕計画の見直しを行う予定。
横浜文化体育館再整備事業	0	0	0	0	—	R2～R4年度 (3年分の累計)	0	0	0	竣工3年までは計画修繕が発生しない計画としており、当初計画通り推移している状況。
上郷・森の家改修運営事業	2,500	2,500	3,191	691	修繕対象物が想定より多かったため。	R元～R4年度 (4年分の累計)	10,000	10,574	574	・令和2年2月、想定より早く故障した受電設備交換(1,500千円)を実施(当初令和6年度交換予定)。 ・事業全体を通して、突発的な修繕と計画修繕の先送りにより、費用のバランスを取りながら、全体額として大きな影響が出ないよう取り組んでいます。
みなとみらい公共駐車場運営事業	39,861	14,030	19,801	5,771	突発的修繕による増	R3～R4年度 (2年分の累計)	43,089	24,198	▲ 18,891	・令和4年度は長期修繕計画に基づき湧水対策工事を実施した。 ・施設が古く、老朽化しているため突発的修繕が多く、当初予定していた計画通りに実施することが厳しい状況ではある。 ・施設・設備の状況を確認したうえで、突発的な修繕と計画修繕の先送りにより、費用のバランスを取りながら、全体額として大きな影響が出ないよう計画を随時見直していく。
本牧市民プール再整備事業	設計・建設期間中のため、修繕費は発生せず									
環状3号線(杉田港南台地区)電線共同溝PFI事業	設計・建設期間中のため、修繕費は発生せず									